

ひとくち食べて
目を丸くする感動を。



火の国 阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
A s o C i t y

昭和六十三年に阿蘇市内牧で大火があった。

木下一生さんの父が経営していた菓子店も全焼した。

東京でパティシエの修業中だったが、

「二から始めるので、阿蘇へ帰ってきてくれ」

父からの要望に従い、

同じくパティシエの兄と協同で始めたのは

当時まだ珍しかった本格的洋菓子店。

無我夢中、試行錯誤の連続で軌道に乗せてきました。

「いい意味で頑固な職人、こうと決めたらもう一本道」

とは、兄恭助さんから見た弟評です。

阿蘇のすぐれた産物を生かして、実験作に挑む。

職人としてつねに自分に課しているのは、

「ひとくち食べた人が目を丸くする感動」

パティスリー・ド・アソ MIYUKI 木下一生

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。